

(家庭数配布)



暴力・暴言は絶対にダメです！

国語辞典で暴力・暴言を調べてみました。

- ・暴力…力でする、乱暴な行い。
- ・暴言…乱暴で、失礼な言葉。

どんなことが暴力・暴言にあたるのか、具体的に示したくはないのでここでは控えておきますが、本校でも残念ながらこの2つの行いが問題になることが時にあります。

(包み隠しても意味がないと思いますので、あえて正直に申し上げておきます。)

子どもたちも、この2つが絶対にダメだということは分かっているはず。では、なぜこの2つを使ってしまうのでしょうか？理由は様々、「〇〇さんのことが嫌い。」「なんか気に入らない。」、他には、もともとイライラしていることがあって、ちょっとしたことがきっかけで思いがけず使ってしまった、もあるかもしれません。しかし、暴力・暴言を受けた相手からすると、そんなことは納得できません。もし気に入らないことがあるのなら、それをきちんと言葉で伝える(説明する)努力をしなければなりません。その努力を怠り、自分の気持ちをただ単に暴力・暴言という手段を使って伝えることは、絶対に許せるものではありません。

それぞれの考え方、感じ方、伝える力に違いはありますので、最初から完璧なコミュニケーションを子どもたちに望むのは難しいでしょう。しかし、まずは最低限の約束として「暴力・暴言は絶対にダメ」をベースにしておかないと、円滑なコミュニケーションが成立することはあり得ません。そのためには、もし自分と考え方の違う人がいたとしても、「だからこそ面白い。」と捉えることもありではないでしょうか。

みんなで力を合せて、暴力・暴言のない、居心地の良い学校を作っていきたいと思えます。



みんな笑顔で
すごすために

「(理由を)説明する」そして「考える」について

$$\frac{1}{2} + \frac{1}{3} = \frac{2}{5}$$

先日、校内の様子を見回っている時、ある先生のこんな授業を見かけました。左のような式について、先生と子どもたちがやり取りしています。これを見て子どもたちは「間違っている！」と。ところが、先生がその間違っている理由を聞くと、「分母が異なる場合はたし算ができないと4年生で習った。」でした。ここで先生がとても大事な指摘をしました。「4年生で習ったと言うのは理由になってないよね。それは説明ではありません。」と。確かにそうです。なぜ通分するのかを説明しなければならないのであって、「過去にそう習った。」ということは説明ではありません。

私がなぜこんなことを言うのか？それは、「理由になっていないことを理由にしようとするこつて結構あるよね。」と思うからです。

例えば、本校のきまりの中の「学校に必要なのない物は持ってこない。」について、子どもたちは「〇〇を持って来てもいいですか？」と先生に聞くことがあります。そこで、もし仮に先生がOKを出せば、他の子から「そんなもの持って来てもいいの？」と聞かれた時に「先生にOKをもらった。」を理由にしようとしています。しかし、本来は「なぜ、その物を持って来る必要があるのか。」を説明しなければならないのであって、先生のOKは理由にはなりません。そんなことで、他の子も納得するはずありません。



前に述べた「暴力・暴言」もこれにあたります。「なぜそんなことをしたのか？」という問いに対して、「自分だけじゃない。」と言う子がいますが、それって説明になっているのでしょうか？(もつとも、暴力・暴言をきっちり説明してほしくありませんが。)

いろいろと例を挙げましたが、「自分できっちり説明できる。」が求められるということです。説明の理由を考えようとせず、ただ単に他人に許可を求めたり、他人の行動を理由にしようとしたり…、それってどうなの？と思います。

続いて「考える」です。ひとつの例として、サッカーの元日本代表・中田英寿さんのエピソードを紹介します。中田さんは中学生の時、試合で負けた罰として、指導者からダッシュ50本を命じられたそうです。しかし中田さんは「意味が分からない。」と、その指示に従わなかったとのこと。指導者からすれば、扱いにくい選手です。これは私の想像ですが、中田さんは「今日の負けの原因と次の試合の勝利が、ダッシュ50本とどう結びつくのか？」を「考えた」のではないのでしょうか。そして、その練習にどんな意味があるのか？を常に「考えて」練習を積んだからこそ、後に日本代表の中心選手としての活躍があるのだと思います。言われたことに対して素直に従う、これは大切なことです。しかし、その上で「考える」という作業を加えないと、大きな進歩はないと思っています。

ぶつぶつと述べてきましたが…、「(理由を)説明する」「考える」について、子どもたちには力をつけていってほしいと思いますし、私たち大人もより高いレベルを追求できればと思います。